

『地域の職場を知り、仕事を体験する』 ～上野中学校職場体験授業を地域でコーディネート～

○エントリー団体

黒沢尻北地区地域学校協働本部
黒沢尻北地区自治振興協議会

○コラボメンバー(役割分担)

北上市立上野中学校2年生:授業として実施
北上工業クラブ:製造業企業紹介
北上市内事業所 51 社:中学生の受け入れ



○事業への思い・解決したい課題

生徒が市内事業所を知り、職場で働くことを体験し、働く皆さんと接することで将来の自分を考える機会とするとともに、地域の企業にとっても認知・理解を得るきっかけとすることを目的としています。

○コラボの経緯

令和3年度に上野中学校から地域コーディネーターに北上市内(主に黒北地区)企業への2年生の職場体験受入の働きかけの協力依頼があり、その後、地域としての取組みを進めています。

○具体的な取り組み内容

黒沢尻北地区地域学校協働本部の地域コーディネーターと事務局が上野中学校から、10月に2日間実施する職場体験先を探す依頼を受けて、市内事業所約 70 社に生徒の受入れ要請をしました。その中で、受入れを快諾いただいた事業所先 51 社と打ち合わせをし、受け入れ体制づくりを進めています。同時に上野中学校では中学生と事業所のマッチング支援や事前準備、事後の事業所へのお礼状の書き方、アンケート実施等の指導を行っています。

○コラボの効果

生徒から「仕事を知り、将来に活かせる」「家族の職場を知ることができた」と働くこと、将来を考える機会になった、という多くのコメントがありました。特に中学生段階から市内の事業所を知り、働くことを体験することは、働くことの重要性、親の大変さを知ることができると考えます。

この取り組みは、地区に協働本部という組織があったことで、多数の事業所(51 社)が生徒の受け入れをできるようになりました。このことは、生徒の職業の選択肢が増え、将来の地元事業所への就職にもつながることも期待できます。

○今後の展開

新たな事業所にも職場体験を受入れしていただき、多くの事業所に中学生とのつながりを体験していただきたいです。この教え、伝える経験は将来の高校生、大学生の採用にもつながると思います。

協働本部としては、さらに受入れ事業所・職種を増やしていき、この活動の横展開を図っていきます。